

株式会社三幸ソーイング

自動裁断機導入による、
民・官需制服の増産体制の整備事業計画

自動裁断機導入により納期、品質、生産性向上
 地元の雇用に貢献
 ファイランソロピー活動も

事業の背景・目的

これまで人手による作業が、機械を導入したことで納期短縮、品質、クオリティ管理、生産性向上、最終的には雇用につながる。以前より購入したいと望んでいた自動裁断機だが、資金面でなかなか導入には至ら

なかった。この度のものづくり支援補助事業の情報を山形銀行から紹介いただき、設備投資でも3分の2の支援補助になると知り、チャレンジするに至った。

事業内容

CAM・CAD自動裁断機導入により、民・官需制服の増産体制の整備事業計画を行う。

自動裁断機は、25年ほど前から縫製業界にある機械であり、縫製工場を設立後、早い段階から欲しいと大望していた機械である。しかし、高価なものであるため、購入に踏み込めずにいた。

計画内容としては、

- ①弊社、官公庁向けユニホームの製造における自動裁断機導入による増産体制及び、製品の正確性の追求。
 - ②上記設備導入による民間需要への対応力向上。
- 以上2点である。



官公庁の制服の実績は信頼の証。

DATA

株式会社三幸ソーイング

制服、官公庁のユニフォーム
全国各警察本部、防衛省、日本郵便、東京税関、JR東日本(株)、JR西日本(株)、JR北海道(株)、JR貨物、東京消防庁、全国各消防署、警察庁通信局、東急急行(株)、民需



代表取締役会長 齋藤 博

代表取締役
齋藤 悟

住 所
南陽市池黒881-2

電 話
0238-47-2600

FAX
0238-47-2671

e-mail
yamagata@sankos.com

設立年
昭和63年8月

資本金
5,000万円

従業員
44名

事業の成果

CAM・CAD自動裁断機は、正確にミリ単位での断裁が可能となり、品質が向上した。これまで裁断部門に4名を配置していたのを2名に減らし、その分、他の部署に移動してもらうことで、生産性が向上、入札による受注品も確実に納期を短縮するに至っている。1年目が終了し、成果として計上を具体的な数値で出すことは、自動裁断機だけで完結するのではなく、縫製作業の流れの一

つの工程であることから難しいが、おおまかに10%アップの利益は計上できた。数値的に現れない部分でも、CAM・CAD自動裁断機を完備していることで信頼の証的な面で受注の拡大が期待できる。また、毎年地元から雇用を続けているが、今後も機械導入により計画的な増産が可能になることから雇用に寄与していく。



CAM・CAD自動裁断機導入でミリ単位まで正確に裁断。品質クオリティ、生産性の向上。

今後の展望

当社は官のイメージが強いため、今後は、官需のノウハウを活かし、もっと民需制服を増やしていきたい。

将来的には、防災グッズを自社で開発していきたい。東日本大震災の際、防災グッズの不足が著しく、県警の要請により、取引先の商社を通

じ、簡易トイレ、遺体袋、蛍光管等、可能な限り集めて山形県警に納品した。また、ガソリン、電池等確保のため東京にトラックをチャーターし2台分収めたことが認められ、県警本部と災害時における物資の調達に関する協定書を結ぶに至った。